



ニッサン ムラーノ

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。
事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせて頂きますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸び
シワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させて頂きます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせて頂きます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。
また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）
その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やシーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じことがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッソ・アルカンターラセレクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされますと、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。
その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないよう製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。
※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



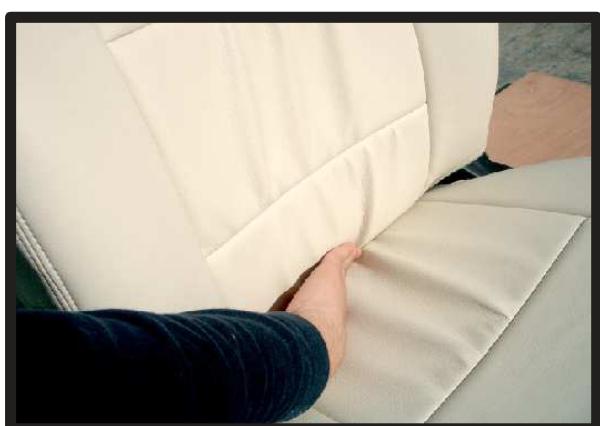
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のひびを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間にに入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができたら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することができます。



①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがズれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1列目座面（運転席側）

運転席・助手席はそれぞれ取り付け方法が異なります。



①座面は、シートのラインに合わせて被せていきます。



④裏側に回りこみ、背もたれのシート下方にあるパーツを、座面の裏側から取り外し、②で引き出しておいたカバーを取り出します。



②マジックテープが付いている部分を座面と背もたれの隙間にカバーを入れ込み後ろから引き出します。



⑤引き出したカバーにある、マジックテープを座面裏側の適当な個所に固定します。



③前面と側面は、シートとプラスチックパーツの隙間に入れていきます。



⑥再び、カバーをシートのラインに馴染ませるように微調整をして完成です。

1列目座面（助手席側）

カバー自体は、運転席側同様、シートのラインに合わせてカバーを被せていきます。



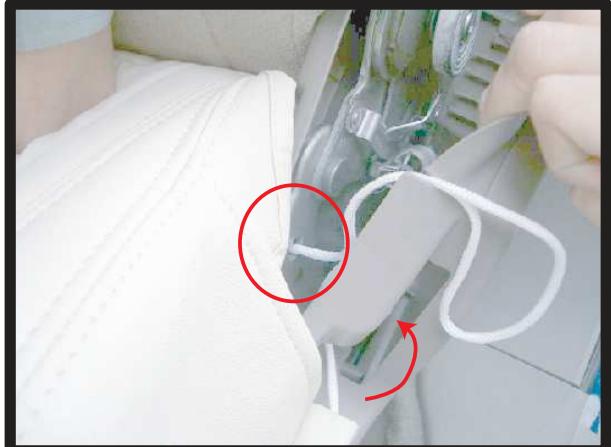
- ①助手席側は、リクライニング用レバーを取り外します。
○で囲んだ部分がツメになっています。ツメを開くようにしながらレバーを引き抜きます。



- ②次に、側面のプラスチックカバーを取り外します。○の目隠しを先の細い工具で取り外します。



- ③目隠しを外すとネジが有りますのでプラスドライバーで取り外し、プラスチックカバーを取り外します。



- ④紐は、カバーのリクライニングレバーがあった場所を通して、次にプラスチックカバーを外した場所にある穴に通して、シートレールの内側に紐を落とし込みます。



- ⑤コンソール側の紐はシートの側面に沿わして背もたれと座面の間からシートの後ろ側に引き出します。左右の紐をしっかりと引き絞り結びます。



- ⑥運転席と同様にカバーを座面と背もたれとの間から裏側に引き出します。

1列目座面の続き



⑦前後のベルトを座面裏側を通して、
固定します。
ベルトをバックルの中央の穴に通し
ます。



⑧中央に通した後、先端の穴にベルト
を通し、適度なテンションが掛かる
ように引き絞り固定します。



⑨再び、シートのラインに合わせて微
調整をして完成です。

1列目背もたれ

運転席と助手席で取り付け方法が異なります。



- ①運転席側は、ランバーサポート用のレバーが有りますので、取り外しておきます。
(割りピンを外して取り外します。)



- ②ヘッドレストを外し、背もたれのカバーを半分程度折り返して被せていきます。
カバーをシートの肩口のラインにしっかりと合わせてください。



- ③肩口部分を先に合わせてから、左右均等に引き下げていきます。



- ④側面のしわを、①→②と中央に寄せるようにしてシートとカバーを馴染ませます。③で中央に寄せてきたカバーをなで下ろして座面と背もたれの隙間に押し込みます。



- ⑤ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地の伸びを利用してください。(無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。)



- ⑥裏側にまわりこみ、④で押し込んだ部分を取り出し、ゴムを座面下の適当な個所に固定します。

1列目背もたれ続き



⑦背もたれの裏面の下部にもゴムの付いた部分がありますので、座面を包みこむようにゴムを座面裏側の適当な個所に固定します。



⑧運転席の背面から見た写真です。取り外したランバーサポートのレバーを元に戻します。



⑨再び、カバーをシートのラインに馴染ませるように微調整を行い、運転席側の背もたれの完成です。

助手席側



⑩助手席側は、運転席側の①～④までと同様に取り付け、背もたれ背面のマジックテープを固定します。



⑪カバーをシートのラインに合わせて微調整を行い、助手席側の背もたれの完成です。

2列目座面



①1列目と同じようにシートのラインに合わせてカバーを被せていきます。



④シートベルトのバックルはカバーの切れ目に隠してください。



②背もたれを倒しながら作業を進めています。
ベルトを座面と背もたれの隙間に入れ込んでいき、座面の裏側を通して座面前方に引き出します。



⑤カバーをシートのラインに合わせて馴染ませるように微調整を行います。
反対側の座面も同じ手順で取り付けます。座面の完成です。



③ベルトは、座面の裏側で固定します。
左右の紐も、座面の裏側での固定になります。紐を引き絞る際、できるだけ
ドア側に寄せるように引き絞ってください。作業が容易になります。

2列目背もたれ＆アームレスト



①取り付ける前に、アームレストを取り外します。
アームレスト側面のプラスチックカバーを取り外します。



④1列目と同じように肩口のラインに合わせて左右均等に取り付けていきます。



②カバーを外すと、ネジが3本現れます。右側の2本は10mmのソケット、左側は17mmのソケットでネジを取り外します。



⑤ヘッドレストの台座部分は、トノカバー用のフックと一緒に取り付けてありますので、フック側から取り出していくます。（無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。）



③金具を取り外して、アームレストを取り外します。



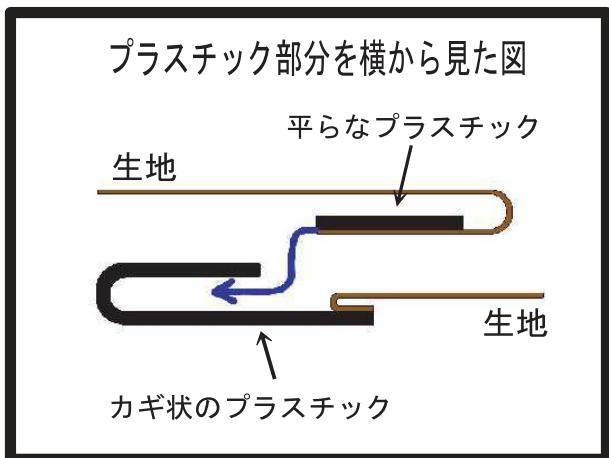
⑥背もたれを倒し、背もたれの背面下部にて、マジックテープ同士を固定します。



⑦取り外したアームレストにもカバーを被せていきます。
左右均等に引き下げていきます。



⑩シートのラインに馴染ませるよう微調整を行い、アームレストを元通りに取り付けます。



⑧プラフックで固定します。
固定方法は、平らなプラスチックを生地を巻き込む形でカギ状のフックに差込んで固定します。



⑪反対側の背もたれも同じように取り付けて完成です。
アームレストの奥の部分はアームレストを納めておくことによりきれいにシートに馴染むようになります。



⑨アームレスト本体のラインにカバーを馴染ませます。



⑫2列目の完成写真です。

ヘッドレスト 1列目と2列目の左右のヘッドレスト



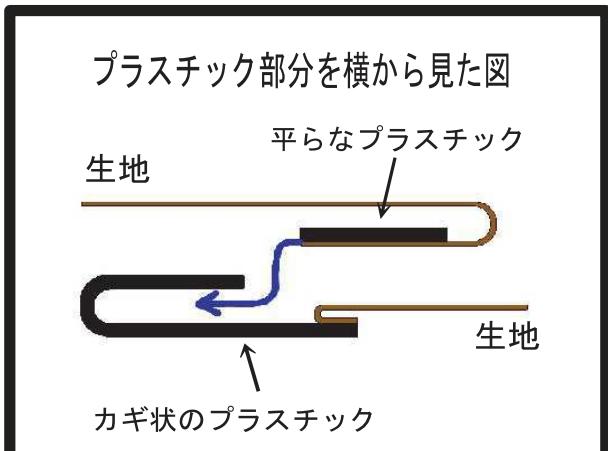
①ヘッドレストの片側から、カバーを被せていきます。



④裏面を向けて、プラスチックのフックどうしを取り付けます。



②被せた側面を整えながら、もう片側にも被せていきます。



③ヘッドレストのラインに合わせて、生地が馴染むようにカバーを整えていきます。



⑤アームレストと同じように取り付けます。
平らなプラスチックを生地を巻き込む形で、カギ状のプラスチックフックに差し込んでいきます。



⑥再度ラインを整えて、ヘッドレストの完成です。



③裏面を向けて、プラスチックのフックを取り付けます。

2列目中央のヘッドレスト



①前側からカバーを被せていきます。



④ラインを整えて、ヘッドレストの完成です。
それぞれのヘッドレストを背もたれに取り付けてください。



②ヘッドレストが大きいので、軽く握りつぶすような感じで、奥までカバーを被せます。

コンソールボックス



①コンソールボックスのフタを開けます。



②フタの裏側にあるネジを外します。
ネジは合計8本あります。
(プラスドライバーを使用します。)
フタを取り外す事ができます。



③取り外したフタに、ネジを隠している
目隠しテープがありますので剥します。

再利用しますので、綺麗に剥してください。



④目隠しを剥したところのネジと、裏
ブタにあるスライドするパーツのス
ライドしたところにあるネジを外し
ます。合計10本ネジがあります。
(プラスドライバーを使用します。)



⑤全てのパーツを取り外します。
最初に外したパーツを含めて、四分
割になります。



⑥フタのラインに合わせてカバーを被
せてていきます。



⑦余分な生地はフタの裏側に巻き込んで取り外したプラスチックパーツに挟んで固定します。

そのままだと挟む時に生地がはみ出してしまい作業が行いにくいので赤線で示してある、生地の端に両面テープ等で生地を直接フタに固定しますと、作業をスムーズに行うことができます。



⑧生地を挟み込みながら外したパーツを元に戻していきます。
角の部分は生地と生地を重ねて挟み込みます。



⑨partsを外した手順と逆の手順で取り付けていきます。



⑩コンソール部分の完成です。



⑪フタを開けた状態です。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1** 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッソ キルティングタイプ・プロス クラッソ
プロスクラッソ タイプ2は対象外です。



- 2** シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3** シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メーター単位での販売となります)
クラッソ キルティングタイプは対象外です。

パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッソイオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。



● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



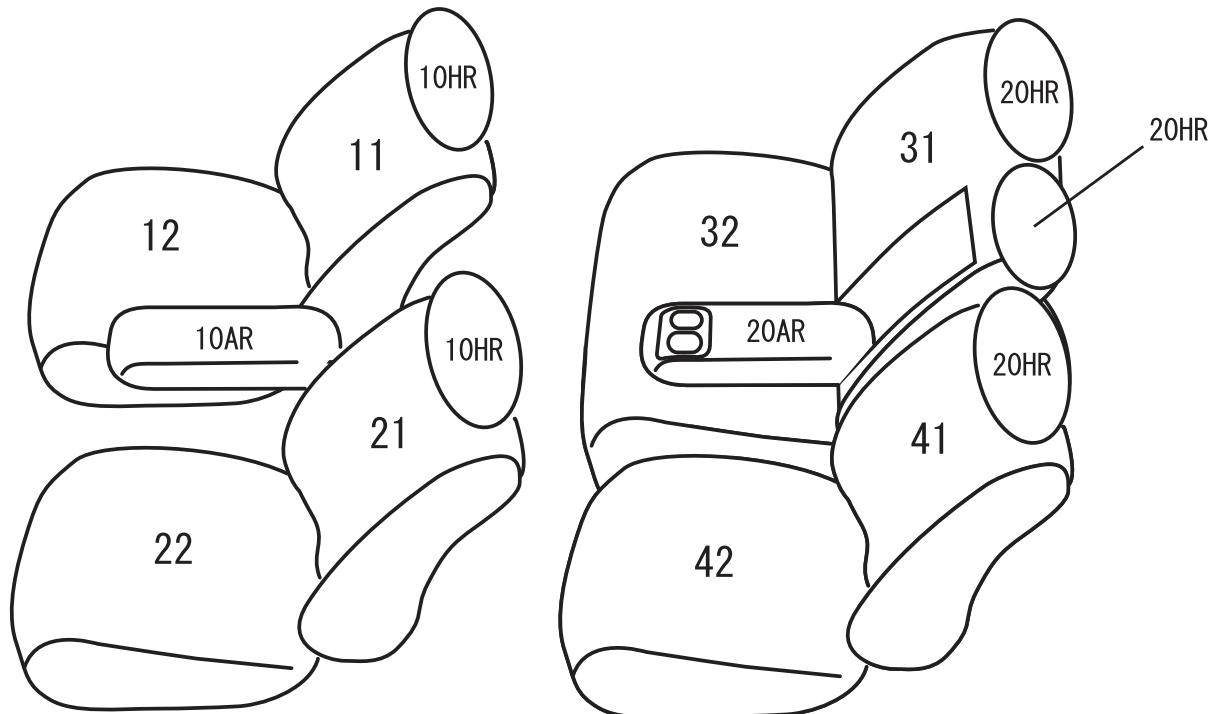
PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

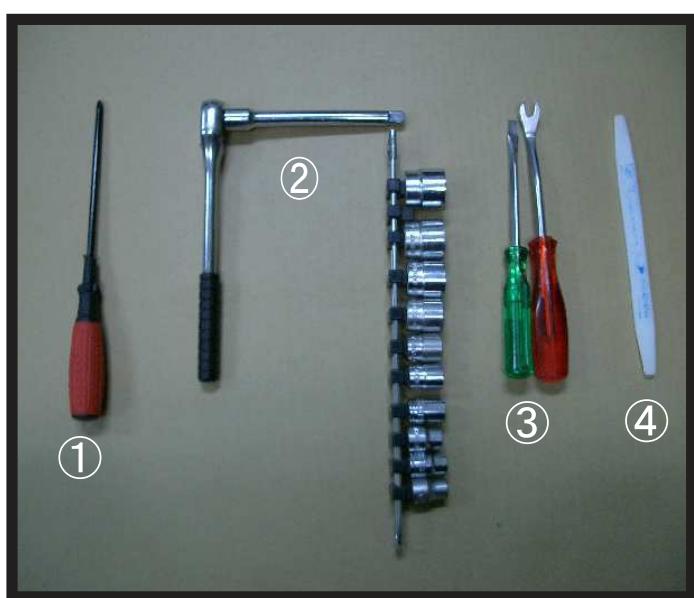
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①+ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ（無くても可）